

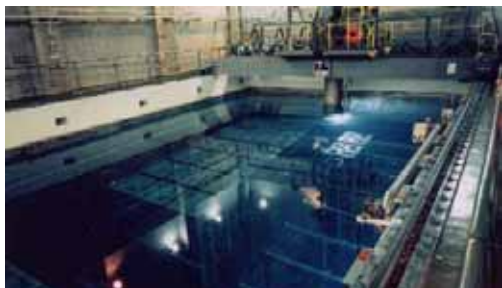
平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被害を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

現在も震災前と変わらず、施設の安全維持に必要な電源及び冷却水は確保されています。今後も引き続き施設の安全維持に努めてまいります。

地震による影響 (3/11)	地震直後の状況 (3/11~3/15)	現在の状況 (3/13~現在)
東電から供給されていた電源が約2日間停止	非常用発電(自家発電)機が地震直後に起動し、施設内への給電を維持	東電からの電源が復旧(3/13)
県から受水している工業用水が約4日間停止	研究所内にある貯水場の水を節約しながら使用することにより重要な施設の冷却水を確保	県からの工業用水を受水(3/15)

津波により、新川が増水したものの再処理施設内への流入はありませんでした。

使用済燃料の貯蔵：安全に使用済燃料を貯蔵しています。



東海再処理施設使用済燃料貯蔵プール

地震によりプールの水が床面に溢れましたが、施設外への漏えいはありませんでした。またプールの冷却設備に損傷はなく、燃料の冷却に必要な水位を確保しています。
なお、現在貯蔵している燃料の発熱が十分低く、貯蔵量も少ないことから、仮に冷却機能が喪失しても、水温の上昇はほとんどありません。

放射線監視：継続して放射線管理を実施しています。



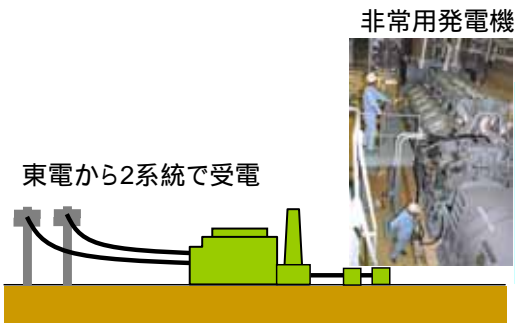
放射線管理モニター監視の様子

非常用発電機により電力が供給され、施設内の放射線管理及び排気モニタの監視は継続しました。

再処理施設からの排気は、通常の放射線レベルです。

環境中の放射線状況をリアルタイムに公開しています。
http://www.jaea.go.jp/04/ztokai/kankyo/realtime/map_10m.html

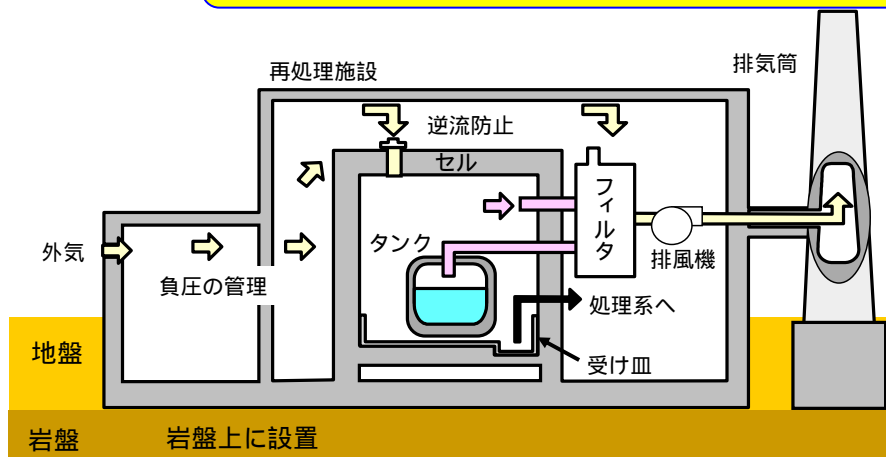
電源：直ちに非常用発電機から電力を施設へ供給しました。



電源供給方法

東電からの電源が2系統とも停止しましたが、非常用発電機7台が正常に起動し、重要な設備へ電力を供給しました。

閉じ込め：放射性物質を閉じ込める重要な施設には、地震の影響はありませんでした。



建物に損傷はなく、換気設備にも異常はありませんでした。負圧管理による閉じ込めは継続しています。重要な建物は、岩盤上に設置し、鉄筋コンクリートで頑丈に造られています。今回の地震による影響はありませんでした。

東海再処理施設内の放射性物質を閉じ込めるしくみ